「この地域で暮らすあなたにとって地域で起きているどのようなことに関心がありますか?」

水海道地区(第1回の意見)令和5年3月19日開催

- ・町内活動より個人生活が優先 ・災害弱者の避難計画ができていない 広域避難の周知徹底がされていない
- 共同住宅住人との交わり
- 町内に連絡網がない

子供が少ない

・犬のフンの始末

5

・公園の遊具を復活させる

地域の方が優しくて

店が無くなった

買い物が遠い

日中いなくても安心

日中は仕事で人が少ない

- 避難所の整備 ふれあいできる場所が少ない ・避難所で温かい食事を
- 防災無線が聞こえない ・独居人(高齢)ゴミ出し
- ・老人が多い
- ・者々介護が始まっている ・空き家の防犯防災火災問題
- 独居男性への外出援助 ・空き家増 しかも相談なし
 - ・空き家問題(朽ち果てている) 水海道一高への夜間高校復活
- 公園の遊具が取り外されている 歴史探訪地図ナシ 公園によくゴミが落ちている 道の駅にキャンピング
- カーステーション ゴミ置き場に大きな袋で 狭い道がとても面白い トレーがあった ・小さな神社などが魅力的
 - 自然豊か! をアピールする
 - 観光資源が少ない

- 防災ラジオの全世帯配布
 - ・三世代交流がコロナで減少 ・核家族世帯とのコミュニケーション ・庭の草刈りが大変
 - コロナで対面会話がない 循環バス
 - 話し相手がいない • 近所の人の顔を見ていない 地域で学べるサークルがない

• 子供会の継続が難しい

子供会活動の不安

・ 少子化で子供が減少 学級減

• 三世代交流する場所がない

- 交流の場がない
- シルバー会への入会があまりない

集まれる場所が少ない

• 文化活動施設の老朽化

市外への就職(大学生)

ゴミの出し方が悪い

- 一人暮らしでさみしい 一人暮らしの人が増えた
- 活気がなく寂しい

- 免許返納後の病院への通院
- 病院の駐車場がたりない

高齢者世帯のみの食事作り

・周りの人が高齢化している

・障子貼りが出来なくなった

買い物に行くのが大変になった

• 高齢者の買い物をする場所がない

• 移動スーパー荷物が重く帰りが大変

- 空き家が増えている
- 犬ネコのフン問題 役所で使う用語を前向きな言葉
- 「シルバー」違う呼び方が良い
- お祭りは賑わっている

- 市の課の名前工夫してほしい

空き家

- 防災組織の未達成 防犯について APRIO
- 文化財の知名度の低さ
- 将来の常総市への考え方

3 一人暮らしの方が多くなっている

104

APRA

- 一人暮らしの高齢の方が増えている
- 高齢者が多い
- 人間関係が希薄になった
- 若い人がよそへ出て暮らしている。
- 子供が少ない
- 子供が減ってお神輿が上がらない
- 班の人数が減っている 町内の役を引き受ける人がいない
- 町内会の役員が高齢でできない
- 運転免許仮納後の足
- 買い物がしにくい お店がなくなった
- ゴミを指定外の所に出す ・ゴミの分別が出来てない
- 空き家・空き地が多い
- 壊れそうな空き家 世帯はあるが住んでいない
- 道路側溝のつまり
- ・災害時には避難所が足りない • 鬼怒川の決壊が心配



- 住民の高齢化
- 子供が少なくなった 近くに子供が居ない
- ・子供会に入らない やめてしまう
- 町内会 班の人数が多すぎて班長さんが 大変(特に集金広報配付)
- 班総会に半分くらいしか集まらなかった 各種役員のなり手がいない 班長を辞退する人が多い
- 消防車が入るのに困難な住宅街 道路と歩道の段差がありすぎて
- ベビーカー・シルバーカーが大変
- ・近所に救急車が2回来た
- ハローワークの駐車場が混んでいる 視覚障がい者向け福祉講座を聞きたい
- 高齢社会における聞こえの問題
- 補聴器が聞こえにくく困っている ・福祉タクシーの使い勝手が悪い(予約)
- 市民の福祉遅れています

買い物に困らない

「あなたが暮らしたいまちはどんなまちですか?」

- 安心安全な生活が送れる
- 生活が便利
- 個人が尊重される
- 子供と老人が一緒に会話ができ笑顔があるまち
- ・老人が心配なく楽しく暮らせるまち
- 公園で遊ぶ子が多くなってほしい 安全な遊び場作り
- 声かけを大事にすること
- 子育てしやすいまちづくり 産前産後の巡回 (コミュニケーション作り)
- ・空き家を利用してコミュニティを作る
- 市民に必要な情報が伝わるまち
- 広報紙をわかりやすく
- 行政と密な関係
- 文化施設が充実したまち
- 医療の充実(支援が充実)したまち
- 買い物、病院に簡単に行けるまち
- 防災情報を確実に得る
- 緊急一斉送信で安否確認が出来るまち 避難所が充実している
- 災害時に助け合える
- ゴミが少なくゴミがあっても気づいた人が拾う
- 祭りが盛んなまち
- バリアフリーの道路 買い物行くときにバリアフリー

集まれる場所がある

(買い物・病院)

クレジットカードが

・公共施設でWiFiが

・駅のロータリーに

つながらない

トイレが無い

班の高齢化 班長のなり手

・子供会の活動低下 加入者減

地域の会に若い20代~30代の

班長負担

• 町内会費

参加が難しい

祭りが復活しそう

映画館がない

広報が全世帯に

配布されない

市役所や病院で

使えない

- そこに行けば会話ができる場がある 憩いの場所がある
- みんなが孤立しないまち
- 子供たちの声がする場所
- 市民が楽しく過ごせる公園
- 子育て支援の会
- リーダー指導者の育成やスキルアップ 洋服などが買えるスーパー
- 病院の駐車場の確保 地元で希望する医療を
- 受けられる • 地域医療 安心していける病院がある
- 介護予防教室への男性参加
- ・立場の弱い方たちが声を上げやすいまち ボランティアで助け合いができる地域
- 相談できる場所がある
- 障がい者支援の会 買い物サービス(届けてくれる)
- ・交通の便が心配のないまち 町内を回り市内に繋げてくれるバス
- 大猫の害のない地域

安心して子育てができるまち



- ・老後住みやすいまち ・独居老人でも安心して
- 生活できるまち お年寄りがゆっくり歩けるまち
- 交通弱者とならないまち 市内交通があるまち バス、タクシーなどが、自由な
- 時間に使える ・店まで遠いので、動くお店(車)が
- 増えればよい 買い物難民にならないまち
- 災害に強いまち

防災のあるまち

5

A. (3)

- ・活動する人は女性が多い もっと男性も参加してみたら
- 必要(おしゃべりの場) 農村地域なのでこれを
- 残していきたい ・今の自然を残していく
- 昔ながらの農法を生かして

参加しやすい場所づくりが

- 自然の食品がある
- 自然がある中での公園が
- 街の良いところをだせるまち
- 昔からのつながりを大切にする
- 花火大会を生かして何かを 不登校の子どもたちが行きやすい
- あるまち

- 移住したいまち 市民との対話・意見を尊重するまち 認知度が高いまち
- 使い勝手を考えた コミュニティバスの運用
 - 子ども・高齢者に親切なまち
 - 子どもたちが近くでキャッチボール、
 - サッカー等が出来る場所がある 安心してあいさつ出来る
- 場所作り
 - 防災に強いまち 自然災害に強いまち
 - (避難所計画が十分にできている) 誰もが安心安全に暮らせるまち
 - 環境汚染のないまち きれいな川

- ・市民病院 筆談で書いてほしい

・交通の便を心配することがない

• 免許返納しても不便にならない

業務スーパーを作ってほしい

- 聴覚障がい者教養講座をやってほしい。
- ヒヤリングループ体験会

- 子どもたちが楽しめる場所の提供 病気になっても安心して暮らせる
- 地域活動に参加しやすいまち
- 公園が多いまち 人が集まるまち ・交通の便が良いまち(高速バス等)
- 2 422 子どもたちが安心して暮らせるまち
- 高齢になっても自宅で暮らせるように 介護予防できる場所が多い
- 高齢者の資格取得に対する維持

病院通いが大変 車代など



- 安心安全なまち
- 市の政策に参加するとポイントがつく